

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立富士小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和7年4月17日（木）

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（中学校3年生生徒）

■ 調査の内容

（1）生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童（生徒）に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

（2）教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は、小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は、各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■調査結果及び考察

1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結 果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と肯定的に回答した児童(生徒)の割合。

佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目	本校 %	全国平均 %
学校に行くのは楽しいと思う。	75.0%	86.5%
将来の夢や目標を持っている。	100%	83.1%
自分には、よいところがあると思う	91.6%	86.9%
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	83.4%	84.9%

「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思う」の項目は、全国平均より高い結果が出ています。

家庭学習の様子に関する調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	0%	12.1%
「2時間以上、3時間より少ない」	0%	12.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	0%	29.1%
「30分以上、1時間より少ない」	50.0%	27.4%
「30分より少ない」	41.7%	12.9%
「全くしない」	8.3%	5.7%

家庭学習については全国平均より大幅に低いです。自分の目標に向かって計画を立てて家庭学習を行う習慣について指導していきます。

(2)改善に向けての取り組み

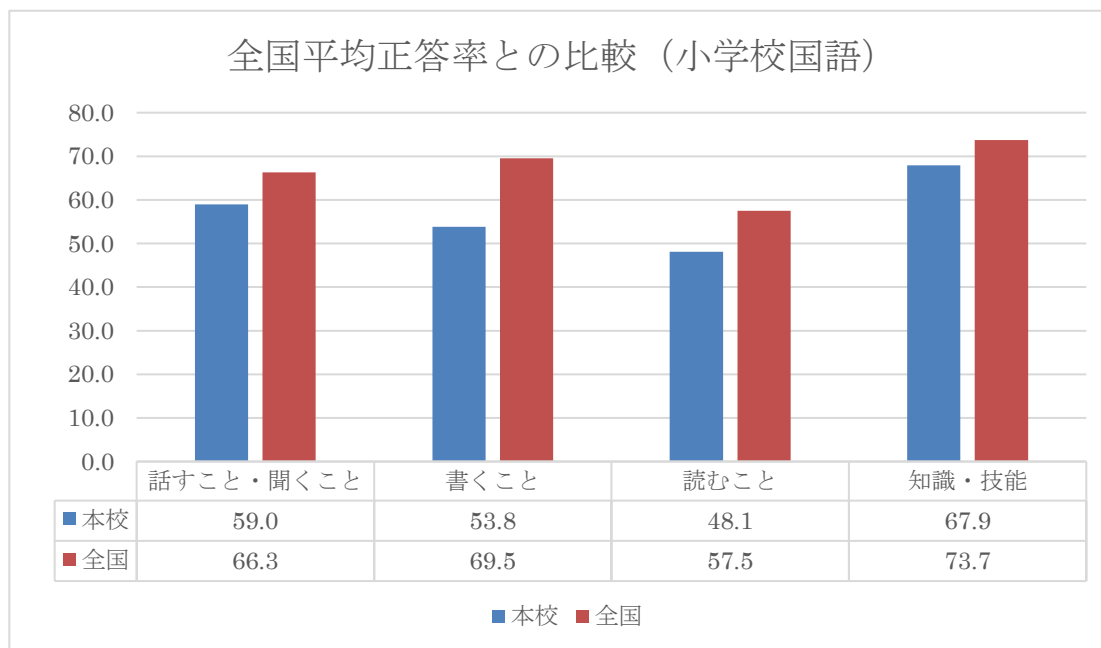
【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習（自学）についても高学年で取り組み、お手本になる自学ノートを掲示して定着しつつあります。これから中学年にも少しずつ広げていきます。
- 計画的に家庭学習に取り組めたか、月の終わりに生活の見直しチェックを行っています。引き続き取り組み、学習時間が少しでも増えるよう支援をしていきます。
- 失敗は、成長につながるチャンスとして捉えています。対話をとおして、互いを知り、認め合う力を育んでいきます。

【ご家庭では】

- 規則正しい生活ができるよう、声かけや支援をお願いします。十分な睡眠は、体力向上・学習習得に良い影響を与えます。
- お子さんが学習面や生活面などで、良い行動を取ったときは大いに褒めてあげてください。自分は認められている、必要とされていると実感することで、自己肯定感が高まっていきます。

2 国 語



(1) 結 果

全国平均より低い結果でした。特に「書くこと」「読むこと」が低いです。情報を選んで、自分の考えを書くことや文章を読んで内容を理解することが苦手であると考えられます。

(2) 成果と課題

今回の調査で多くの課題を見つけることができました。問題形式の「記述式」（書くこと）の正答率が低いので、主体的な学びの視点で授業改善を図り、児童の記述力を高める指導をしていきます。また「読むこと」では、文章を読んだり感想交流をしたりして文章を読み解く力を伸ばします。

(3) 学力向上のための取り組み

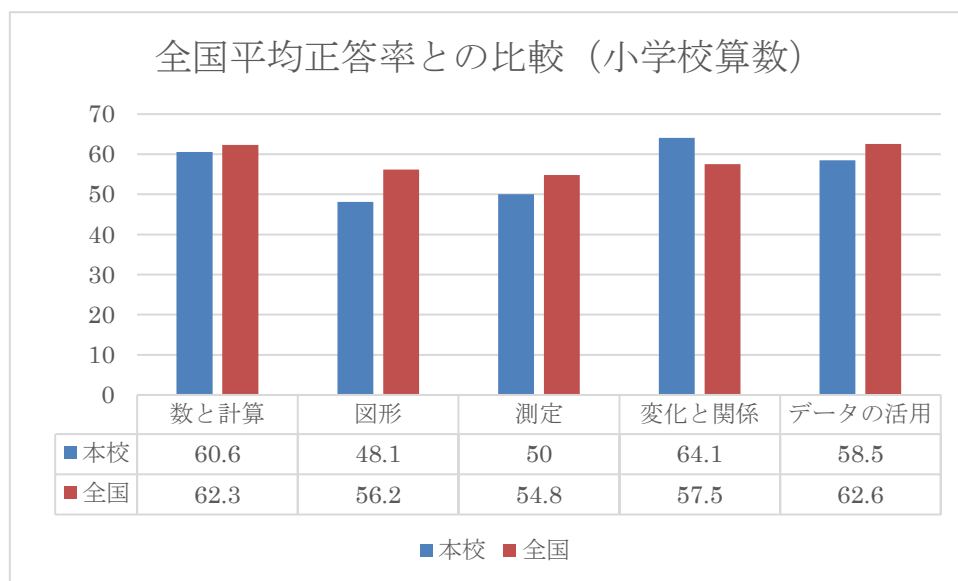
【学校では】

- 字数を決めて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- 音読スキル、漢字の読み書き学習に一層力を入れます。また、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- 授業中も声に出して、教材文や問題文を読み、読む活動の中で文章の構成や内容を把握できるようにしていきます。
- 習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしましょう。繰り返し音読することで、文の構成、文節ごとの区切り、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることにもつながります。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、「読む」を楽しめるようになります。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、お子さんの読書習慣をつける上でおすすめです。

3 算数(数学)



(1) 結果

全国平均よりやや低い結果でした。1つの領域で全国平均上回っていますが、他の領域は下回っています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「変化と関係」の領域「伴ってかわる2つの数量の関係」に着目し数量を見いだす項目が全国平均を上回っていました。「数と計算」の領域の、数直線上の数値を分数で表す問題の正答率が全国平均を下回っていました。今後、分数の意味や概念を押さえながら、分数の計算に取り組ませることが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

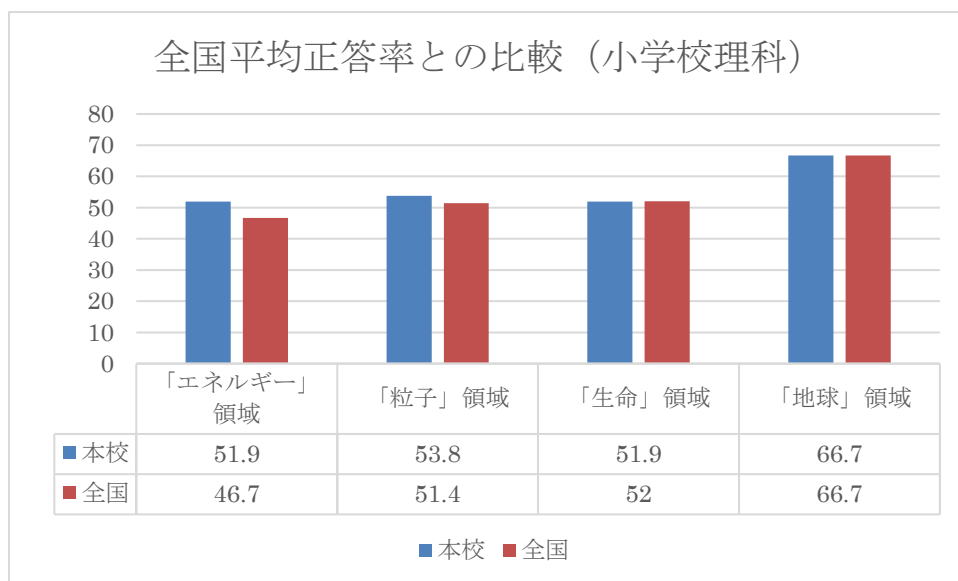
【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 計算や問題に取り組む際は、生活場面に結びつけたり、イメージをさせたりしながら必要感をもたせます。
- ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数が好きになるには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」という経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身の回りには算数を使えるものがたくさんあります。

4 理科



(1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。しかし、記述式の問題の正答率が低かったです。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「粒子」の領域の水の温まり方や蒸発についての正答率が全国平均正答率を3.0ポイント上回っていました。また、「エネルギー」の領域のまとめからその根拠を実験の結果を基にして書く問題の正答率も全国平均正答率を上回っていました。自然現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを記述する問題が全国平均正答率を下回るなど、問題形式の「記述式」の問題で課題が見られました。日々の授業で説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、記述した内容を確認させることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 理科の学習過程を「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題・・・」とし、一貫した学習指導を行うことにより、児童の思考力、判断力、表現力を向上させます。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、結果に対する考察を論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- 理科が好きになるには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。星空を見上げて星座の話をしたり、コップの結露の理由を考えたりすることで、習ったことと日常生活での現象を結びつけると理解が深まることもあります。
- 佐賀県立宇宙科学館や佐賀県立博物館などのイベントチラシ等も配布しております。お時間があるときにお子さんと一緒に行ってみることで、興味関心が向上することもあります。